

子ども未来局

子ども未来局 当初予算のポイント

4次総最終年度（2030年度）を目指す姿

すべての子ども・若者が、夢や希望をもって、
健やかで、たくましく、しなやかに育つまちの実現



2つの安心で子ども・若者・子育て家庭を支えます

ハグくむ
子育ての安心



安心して楽しく子育てができる環境整備



ハグくまれる
子育ての安心

困難を抱える子ども・若者への支援強化

しずおかハグくむ子育てプロジェクト 愛称:しずハグ

令和5年度の主な取組

ハグくむ子育ての安心 ～保護者の目線に立った支援～

I 経済的支援 ～子育て家庭の経済的負担の軽減を図る～ 3,821,651千円

【拡充】第2子以降の保育料完全無償化 691,452千円

- ・きょうだいの就学に関わらず、所得制限なく第2子以降の保育料を無償化

【新規】出産・子育て応援給付金給付事業 552,490千円

- ・妊娠から出産までの伴走型相談支援とあわせて、妊娠時と出産時において各5万円の経済的支援を実施

【継続】結婚新生活支援助成 15,795千円

【継続】不妊治療助成 3,300千円

【継続】子ども医療費助成 2,558,614千円



II 人的支援 ～子育て家庭の心理的・身体的負担の軽減を図る～ 620,499千円

【新規】未就園児等相談支援強化事業 5,682千円

- ・未就園の子ども等が1歳、2歳のタイミングで新たにアウトリーチ型の相談支援を実施し、妊娠から子育てにおける不安や悩みに切れ目なく寄り添う

【新規】あったかしずおか・寄り添い子育て情報発信事業 7,487千円

- ・一人ひとりの妊娠週数やお子さんの月齢に合わせて必要な情報をタイムリーに配信

【継続】産後ケア・ママケアデイサービス事業 27,860千円

【継続】子育て支援ヘルパー派遣事業 1,574千円

【継続】一時預かり事業 526,295千円

【継続】病児病後児保育事業 23,566千円

【継続】ファミリーサポートセンター・緊急サポートセンター事業 28,035千円



【新規】屋内遊び場施設整備調査研究事業 10,768千円

・屋内遊び場の整備検討に向けた調査研究を実施

【拡充】私立こども園・保育所等運営費助成 1,658,710千円
 ・幼稚園（施設型給付）を給与改善支援の対象に追加

【継続】私立認定こども園・保育所等整備 1,033,139千円
 ・新たに88人分の保育の受け皿を確保、老朽化した園舎の建替えを実施

【継続】放課後児童クラブの整備・運営 2,074,831千円
 ・新たに2か所（南部小学校、富士見小学校）に整備（70人分の受け皿を確保）
 ・入退室管理システムの導入、保護者が支払う手数料を公金として市が歳入開始

【継続】民間放課後児童クラブ運営費助成 107,135千円
 ・補助対象民間クラブの増や障がいのある児童の受入れの増に対応して予算を増額



ハグくまれる子育ての安心 ～子ども・若者の目線に立った支援～

Ⅳ 困難を抱える子ども・若者への支援

563,380千円

債務負担行為（98,970千円）

1 ヤングケアラーへの支援

【新規】ヤングケアラー支援事業 3,029千円

・コーディネーターによるアウトリーチ型支援の実施、家庭へのヘルパー派遣実施

2 インクルーシブ教育・保育の推進

【継続】私立こども園・保育所等特別支援保育事業 268,755千円
 【継続】私立幼稚園障害児教育費助成 10,188千円
 【継続】医療的ケア児受け入れ事業 8,723千円
 【継続】発達早期支援事業 6,688千円



3 子どもの安全・安心の確保

【新規】市立こども園等保育業務支援システム導入事業 104,000千円

・システムの導入により連絡帳・園便りなどの事務を効率化し、保育業務の質を向上

【新規】子どもの安全対策促進事業 68,280千円（うち2月補正 68,280千円）

・私立こども園、放課後児童クラブにおける送迎車両への安全装置の導入支援をはじめとする子どもの安全対策の推進

【新規】児童相談業務DX推進事業 32,692千円

・児童相談業務におけるDXの推進により、よりの確かつ迅速な対応をサポート

【新規】児童相談一体化システム導入事業（98,970千円）

・各区と児童相談所共通のシステム導入により児童相談業務における情報を一体的に管理

4 不登校・ひきこもり対策

【継続】適応指導教室の運営 11,983千円
 【継続】ひきこもり対策の推進 27,906千円

5 子どもの居場所（サードプレイス）づくり支援

【継続】子どもの貧困学習・生活支援 20,972千円
 【継続】子ども食堂交流・居場所づくり支援 164千円



第2子以降の保育料完全無償化

幼保支援課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	691,452				691,452
前年度予算額					

目的	誰もが安心して子どもを生き育てることができ、子育てに喜びを感じることができるよう、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、2人目以降の子どもに係る保育料を無償化する。
----	--



事業概要	<p>きょうだいの年齢や世帯の所得に関係なく、2人目以降の子どもにかかる保育料を無償化する</p> <p>○開始時期 令和5年4月分保育料から適用</p> <p>※現行制度では、保育料の負担割合は1人目は全額負担、2人目は半額負担、3人目以降は無料となっており、未就学でこども園・保育所等を同時に利用するきょうだいの人数で決定している。</p> <p>※ただし、年収360万円未満相当の世帯は、就学児も含めた人数で決定している。</p>
------	--

無償化後の保育料負担

きょうだいの人数	きょうだいがすべて未就学児の世帯	きょうだいに就学児(小学生以上)がいる世帯	
	所得関係なし	年収360万円未満相当	年収360万円以上相当
第1子	未就学児 1人目 全額負担	就学児 1人目 半額負担	就学児 対象外 1人目 全額負担
第2子	未就学児 2人目 半額負担 ↓ 無料	未就学児 2人目 半額負担 ↓ 無料	未就学児 1人目 全額負担 ↓ 2人目 無料
第3子	未就学児 3人目 無料	未就学児 3人目 無料	未就学児 2人目 半額負担 ↓ 3人目 無料
第4子	未就学児 4人目 無料	未就学児 4人目 無料	未就学児 3人目 半額負担 ↓ 4人目 無料

【新規】

伴走型相談支援事業

子ども家庭課

(未就園児等相談支援強化事業、出産・子育て応援給付金給付事業)

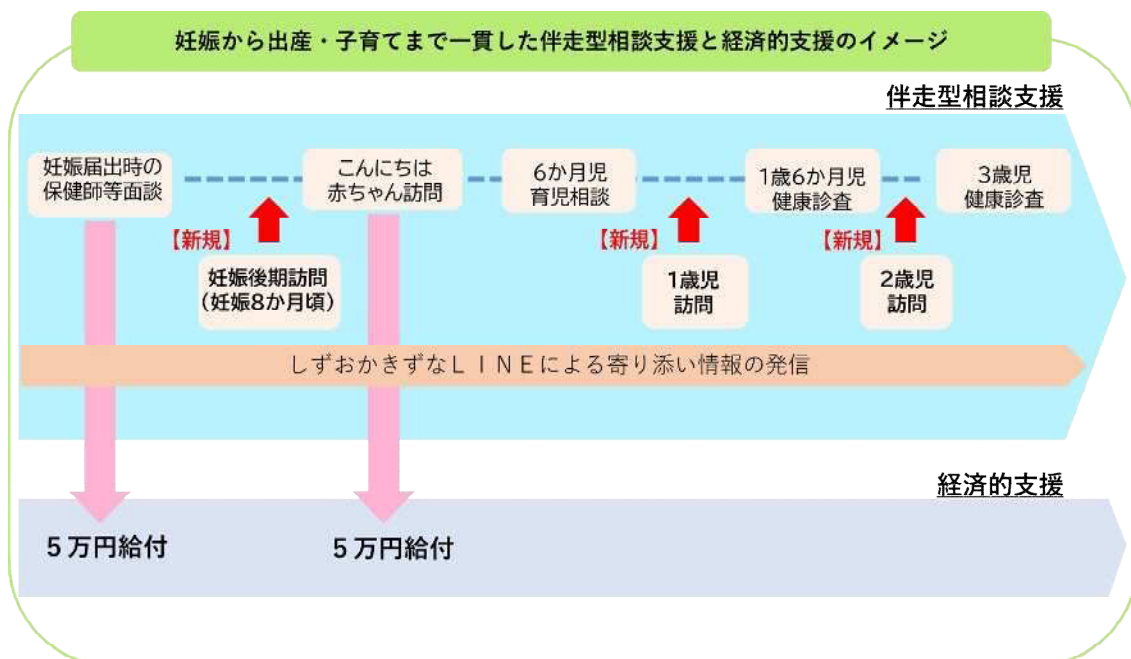
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/6)	市債	その他	
当初予算額	558,172	459,742			98,430
前年度予算額					

目的	妊娠から出産・子育てまで一貫して寄り添った支援を実施することで、孤独感や不安を解消し、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるようにする。
----	--



事業概要	<p>1 未就園児等相談支援強化事業 5,682千円 子育て家庭を対象としたアウトリーチ型相談支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象世帯 1歳または2歳になる子どもを養育する世帯 ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての対象世帯にアンケート調査を送付し子育ての状況と相談支援の希望の有無を確認 ・相談支援を希望した世帯、調査結果から支援が必要と判断した世帯に対して相談員を派遣
	<p>2 出産・子育て応援給付金 552,490千円 妊娠届出時、妊娠後期(8ヶ月頃)および出産後の相談支援と経済的支援を一体的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○給付額 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時の相談支援実施後 妊婦1人につき5万円 ・出産後の相談支援実施後 新生児1人につき5万円 <p>※既存の伴走型相談支援にアウトリーチ型相談支援を新たに加えるとともに、給付金の支給を一体的に実施し、実効性を高める</p>



【新規】

あったかしずおか・寄り添い子育て情報発信事業

子ども未来課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	7,487	3,743			3,744
前年度予算額					

目的	子育てする親等が適時に必要な情報を得られるよう、市が運営する子育て情報サイトをリニューアルするほか、新たにSNSを活用したプッシュ型の情報発信を開始する。
----	---



事業概要	<p>1 SNSを活用した切れ目のない子育て支援情報の発信 「しずおかきずなLINE」 2,868千円 妊娠週数や月齢に合った妊娠・子育てのアドバイスや子育て支援施策の情報をプッシュ型で発信 ○配信媒体 静岡市公式LINE ○配信回数 妊娠から子どもが満3歳に達するまでの間に計540回程度</p> <p>2 静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむしずおか」のリニューアル 4,619千円 ○改修内容 ・ イベント情報ページに、地域、対象年齢、イベント種別ごとの検索機能を追加 ・ 保育サービス・施設情報ページに施設種別、サービス種別ごとの検索機能を追加 ・ スマートフォン向けサイトデザインを追加 ・ 子どもの居場所となる子ども食堂等の情報を新たに掲載</p>
------	---

妊娠期

出産・産後

子育て期（～満3歳）

「しずおかきずなLINE」発信による伴走型支援

妊娠期～生後100日までは毎日、満3歳までは月齢に応じ週1～月2回、切れ目なく発信

発信内容イメージ（左：妊娠期、右：子育て期）



自ら情報収集する負担の軽減

出産・子育ての不安感・孤立感の軽減

相談やサービスにつながりやすくなる

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,768				10,768
前年度予算額					

目的	乳幼児から小学校低学年程度の子ども達が、屋内で思いきり遊び、運動ができる屋内遊び場の整備について、調査研究を実施し、令和8年度のオープンを目指す。
----	---



事業概要	1 先進事例視察 768千円 屋内遊び場の整備に向けて、屋内と屋外の遊び場の一体的整備や特色ある遊具の導入等の特徴的な事例を視察し、その整備運営手法等を調査・研究
	2 プロジェクトチームによる子育て世帯等へのヒアリング調査 子育て支援施設や子育て親子が集まる催事などにおいて、屋内遊び場に関する具体的な要望の聞き取りや意見交換の実施
	3 整備に向けた基本構想の策定及び環境調査 10,000千円 ・先進事例調査、ヒアリング調査の結果分析 ・市民とのワークショップの開催 ・施設コンセプト、整備内容および立地等諸条件の検討



1. 先進事例視察

2. ヒアリング調査

3. 環境調査・基本構想策定

屋内遊び場整備に向けた調査研究の実施



遊び場イメージ（参考：明石市「子育て交流スペース ハレハレ」）

【新規】

ヤングケアラー支援事業

青少年育成課

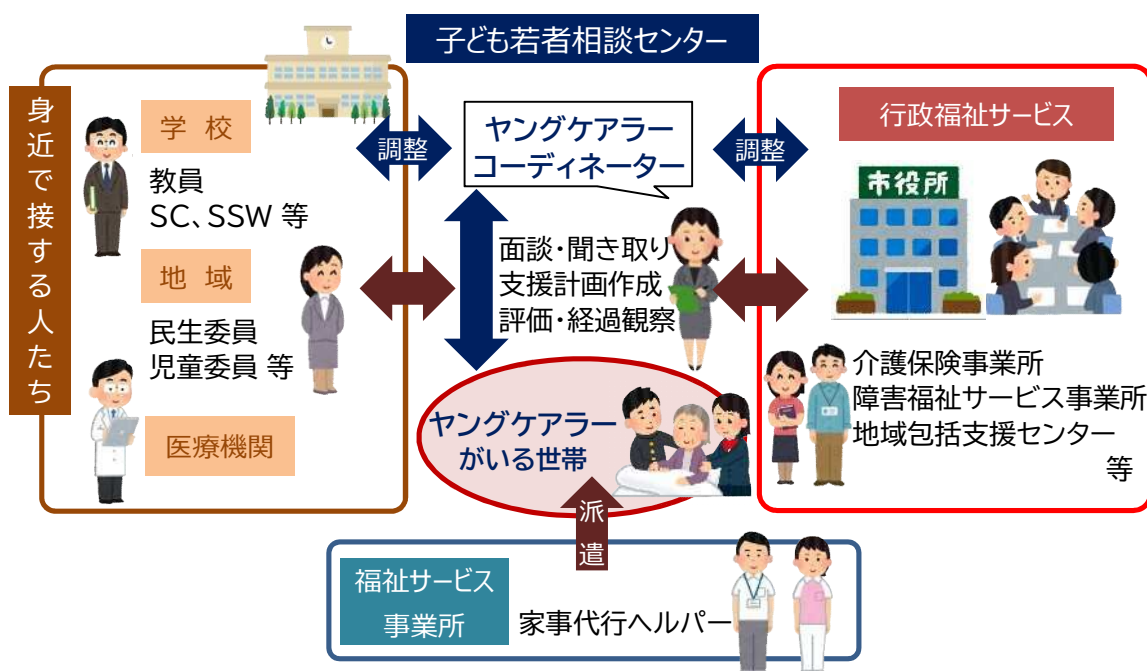
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3, 1/2)	市債	その他	
当初予算額	3,029	1,560			1,469
前年度予算額					

目的	ヤングケアラー（本来大人が担うと想定される家族の世話等を日常的に行う子ども・若者）の社会的認知度の向上やコーディネーター配置等により、早期発見や地域で連携した支援につなげ、子ども・若者の権利を守る。
----	---



事業概要	<p>1 ヤングケアラー・コーディネーターによる関係機関との連携 278千円 ヤングケアラー本人やその家族との面談、身近で接する人たちや関係機関職員への聞き取りにより、その家庭に合った支援計画を作成し、支援期間への橋渡しを行うコーディネーターを配置する。</p> <p>2 ヤングケアラー関係機関等職員研修の実施 124千円 関係機関等職員向けに研修会を実施し、ヤングケアラーの早期発見や地域で連携した支援につなげる。</p> <p>3 ヤングケアラーヘルパー派遣事業の実施 2,627千円 ヤングケアラーがお世話をしている家族が本来受けられる福祉サービスの支給が決定されるまでの期間に、買い物や調理等の家事代行や病院への付添い等を行うヘルパーを派遣する。</p>
------	--



インクルーシブ教育・保育推進事業

子ども未来課、幼保支援課、こども園課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3)	市債	その他	
当初予算額	287,595	4,931			282,664
前年度予算額	264,849	8,492			256,357

目的	多様な背景を有する子どもを身近な園等で受入れ、他の子どもと共に育つ環境を提供するとともに、一人ひとりの特性に合わせた手厚い教育・保育を行うことにより、乳幼児期から健全な心身の発達や生涯にわたる人格形成の基礎作りの支援を行う。
----	--



事業概要	<p>1 市立こども園の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の受入 7,250千円 導尿や経管栄養など医療的ケアが必要な子どもの受け入れ ・特別支援教育研修の拡充 210千円 専門家や医師等による研修実施 <p>2 私立こども園等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の受入 6,449千円 医療的ケア児を受け入れるための加配職員人件費を助成 ・障害児保育に係る職員配置支援 271,750千円 障がい児保育の実施や、食物アレルギーのある園児に対する除去食の調理に必要な加配職員人件費を助成 ・保育・教育巡回支援事業 744千円 支援員が園を巡回し、保育観察・助言・提言を実施 <p>3 放課後児童クラブの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の受入 1,402千円 導尿や経管栄養など医療的ケアが必要な子どもの受け入れ ・子ども未来課主催研修へのクラブ職員の参加 配慮を要する児童への対応について、専門家による研修を実施
------	---

切れ目のない支援の実施のための連携イメージ



こども園等・放課後児童クラブの取組

- ・医ケア児の受け入れ
- ・手厚い職員配置
- ・専門研修の実施

【新規】

市立こども園等保育業務支援システム導入事業

こども園課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	104,000	52,000			52,000
前年度予算額					

目的	市立こども園利用者である保護者の利便性向上、園児の安全確保、保育教諭の業務効率化を目的として、市立こども園に保育業務支援システムを導入する。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 保育業務支援システムの導入 32,290千円 <ul style="list-style-type: none"> 保育業務支援システムの利用ライセンスを取得 園児の登降園管理、保護者へのお便り配布といったこども園業務のデジタル化 システム稼働開始は令和6年1月予定 こども園のネットワーク環境整備 49,348千円 <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi設備の整備やルータ購入を行い、システム利用のネットワーク環境を構築 システム操作端末導入 22,362千円 <ul style="list-style-type: none"> クラスに1台端末を導入 端末は保育室への持ち運びを想定するため、端末管理及びセキュリティ対策の専用ソフトウェアを運用
------	---

【保護者の利便性向上】

これまで

- ・園児の様子は掲示物(写真等)を確認
- ・連絡帳は直接受け取り
- ・欠席や遅刻連絡は、電話連絡



導入後

- ・連絡帳や園児の様子は、専用アプリで確認
- ・欠席や遅刻連絡は、専用アプリからメッセージ送受信



保護者の園利用が**スマホ1台で快適**に！

児童相談体制強化事業

児童相談所

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	32,692	16,346			16,346
前年度予算額					

目的	児童相談における情報連携および管理ならびに虐待通告対応のDXにより児童相談所の体制を強化し、児童虐待重大事案の発生を未然に防ぐ。
----	--



事業概要	<p>1 児童相談業務DX推進事業 児童相談所に寄せられる虐待通告への初動対応や通告内容をもとに行うアセスメントに携わる職員をサポートするシステムを開発・導入する。 ○導入効果 ・ベテラン職員のノウハウや過去の対応事例に基づくサポートにより、経験の浅い職員の支援の質を向上 ○スケジュール ・令和6年1月 システム運用開始（予定）</p> <p>2 児童相談一体化システム導入事業 児童相談所と各区子育て支援課（家庭児童相談係）とが関わる児童の支援状況等を共有できるシステムを開発・導入する。 ○導入効果 ・児童に係る情報収集の円滑化 ・支援方針決定の迅速化 ・支援方針に基づく対応の一貫性の向上 ○スケジュール ・令和5年度 システム開発契約 ・令和6年度 システム運用開始</p>
------	--

